



バオバブの木



ビクトリアの滝



アフリカ

ザンビア

# NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

## ニュース第 12 号 (H25.5.26)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7 (fax0985-54-5711) 文責：理事長 日高良雄

はじめに 五月も終わりですね。沖縄はすでに梅雨に入っていますが、まだ宮崎では晴れの日が続いています。梅雨の大雨が心配になりますね。

本日は、山元先生からの現地レポートをお届けします。

会の経過報告 吉野会員のご尽力によりできあがりました当法人のホームページ ( <http://ormz.or.jp/> ) はご覧頂きましたでしょうか。ご覧頂くと共に、どうぞ多くの方にご紹介してください。よろしくお願いします。

山元先生からのレポートにもありますが、川に流された車は保険会社の承認がでて、なんとか修理ができそうです。

### 会費納入等について

新しい事業年度となっておりますので、賛助会費(一口 5000 円、一口以上) の送金をお願いします。

ニュース 10 号でのお知らせ後、多くの方から送金していただきました。ありがとうございました。

またできれば、より多くの方に賛助会員になっていただくよう呼びかけていただけるとありがたいです。よろしくお願いします。連絡先は法人代表 [✉ info@ormz.or.jp](mailto:info@ormz.or.jp) 又は日高 ([hidaka1956@gmail.com](mailto:hidaka1956@gmail.com)) です。

★ゆうちょ銀行からの振替 口座記号番号 0 1 7 2 0 - 9 - 1 2 6 3 5 1

加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

★他の金融機関からの送金 ゆうちょ銀行 店名：一七九、預金種目：当座、口座番号：0126351

加入者名 : NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

\*注：店名ですが、漢数字でした。「いちななきゅう」です。

### 活動報告 (山元先生からの経過報告～ザンビア ルサカから 5月19日～)

みなさま いかがおすごしでしょうか。5月14日朝、高校の同級生の木宮公一さんが亡くなったとの知らせを受けました。以前からザンビアの活動を支援して下さい、NPO 設立に際しては賛助会員になっていたっていました。心からご冥福をお祈りします。

さて、巡回診療の開始時から共に苦勞をし、私の不在時にも活動をまわしてくれていた運転手兼コーディネーターのアンドリューという青年が、1月の事故の責任を考慮して、給料を減額したことに納得せず、

4月いっぱい退職しました。スルさんという年配の方を彼の後任に雇用しました。これまで運転手として他の NGO で仕事をしていましたが、私たちの事務所ではその他いろいろの雑用もお願いしなくてははいけ

ないのですが、もう一人の運転手と協力してがんばって仕事をしています。

5月8日のルアノの巡回診療には三重大の医学生6名が同伴しました。彼らは University of Teaching Hospital で3週間の研修でルサカに滞在しています。彼らの感想やコメントを後で送っていただく約束です。

5月8日のルアノの巡回診療では、とにかくマラリアの患者が多く、71人の患者を治療し、マラリア検査の陽性率は67.6%でした。マラリア薬コアテム（1箱大人10人分 180,000Kwacha 日本円で3400円）、マラリアの検査キット RDT（1箱25人分 150,000Kwacha 日本円で2800円）がそれこそ飛ぶようになくなっていき、お金の話ではずかしいですが、正直泣きそうでした。1-2箱は時々チペンビヘルスセンターから支給されることがあったのですが、現在ヘルスセンターには在庫がない状態です。5月10日に予定されていたカナカントパヘルスセンターのオープンは延期になり、マラリア患者が多いとのことで、5月13日に急遽カナカントパでの巡回診療を実施しました。78人のマラリア患者を治療し、マラリア検査の陽性率は67.8%でした。マラリア検査キットやコアテムの十分量をコミュニティヘルスワーカーに渡すことができず、追加のキットとコアテムを後で届けました。

昨年、マラリア予防の蚊帳をそれぞれの地域で1000個配布したのですが、マラリア陽性の子供たちの多くがまだ蚊帳を使っていない状態でしたので、蚊帳を50個購入しました。カナカントパでは持参した10個の蚊帳がすぐになくなってしまいました（1個5000Kwacha 日本円で94円で提供）。

5月15日はチペンビヘルスセンターから車で約1時間のムワンタヤ地区で第1回の巡回診療を実施しました。チブリカさんという退職してフリーの助産師さんがはじめて同行しました。人口約1000人の地区ですが、212人の受付があり、全ての患者の診察が終わったのが17時近くでした。マラリアの患者が比較的少なかったのには驚きました。近辺に小川や水たまりがなく乾燥した地域だからではないかと説明を受けました。ここには20個蚊帳を持参しましたが、やはりすぐになくなってしまいました。ひとりのコミュニティヘルスワーカーにこうやって巡回診療に来てくれるなんて夢にも思わなかったと感謝されました。これからはばらばらは月1回、予算が許せば月2回行ければと考えています。チブリカさんも妊産婦健診、それが終わったら早速我々の診療を手伝ってくれました。これからルアノも含めて月3回手伝ってくれるそうで、いい助産師さんに巡り合えてよかったです。

1月にルアノからの復路で水に浸かったランドクルーザーは、ようやく保険会社の承認がもらえ、5月16日から修理が始まりました。エンジンは大丈夫だったようで、28,005,550Kwacha（日本円で528,400円）で修理でき、手出しは4,716,960Kwacha（日本円で89,000円）でした。1-2週間後には受け取れるそうですが、修理後調子がいいといいのですが。

ルサカは寒くもなく暑くもなく、乾燥したすごしやすい毎日が続いています。庭の隅に植えたレイプというアブラナのなかまの野菜やトマトの苗が少しずつ大きくなっています。これは私たちの昼ごはんのおかずになる予定です。1ヶ月後には日本に戻る予定なので、不在の間、アンドリュウのいない状況でどうやっていくかいろいろ悩んでいます。何とかなるのではと楽観的に考えるようにしています。

みなさま、どうぞお元気でお過ごし下さい。（今回はアンドリュウがいなく、活動の写真がとれず、事務所内部の写真です。コンテナに薬品が入っています。ハエとり紙がぶらさがっています。）

